

人口減少待った無し、さらなる改革を！！



自民党国分寺市議団 本橋 たくみ

●人口減少問題、多世代同居について

(本橋) これまで子育て支援策の充実、産前産後の包括的ケアの問題を取り上げてきた。人口減少また、地域社会の希薄化においても多世代同居の推進という視点は大変重要であると考えている。(市) 子育て環境の視点、コミュニティの形成においても重要であり検討していく。

●スポーツ振興について

(本橋) 2020年オリンピック・パラリンピックに向け東京都からスポーツ振興に関する補助金が示された。市内スポーツ施設の充実、特にグラウンドなどの拡幅、人工芝化など屋外スポーツの環境整備に向け積極的な活用をお願いしたい。(市) 人工芝化などを含めて積極的に活用し、様々な方策について検討していく。

●都市計画道路国3・2・8号線について

(本橋) これまでは平成27年度に開通をするということで説明がなされてきたが現状厳しい状況であると考えている。市民にしっかりと説明責任を果たしていただきたい。(市) 都から厳しい状況であると伺っている。都との連携をしっかりと果たし、説明責任を果たしていく。

●都市計画公園について

(本橋) 市内の一定規模の公園はいくつかあるが、地域間の偏在の問題や、そもそも数が足りない。子育て環境の整備の視点、地域コミュニティの視点からも一定規模以上の公園の用地を計画的に都市計画に位置づけ、将来的に用地を確保していく必要があると考える。(市) 公園の再配置計画のなかで検討のもと、市全体にわたって公園を適正に配置し、整備、維持管理していく。

●農業振興について

(本橋) 都市農業振興基本法が成立し、農業委員が市長の任命制に変わる。現行の農業委員会、JA等含め、連携を密にして混乱のない形で進めていただきたい。また、農家と市民の相互理解が進むよう政策をすすめていただきたい。(市) 農業委員会、関連団体と連携を密にし、農業事業のさらなる充実を図っていく。

意見書を可決

下記の意見書を可決し、関係機関に送付しました。ここでは、意見書の要旨を掲載しており、全文についてはホームページに掲載しています。

意見書第2号 年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書

国分寺市議会は政府に対し、下記の事項を強く要請する。

- 1 年金積立金は、厚生年金保険法等の規定に基づき、専ら被保険者の利益のために、長期的な観点から安全かつ確実な運用を堅持すること。
- 2 これまで安全資産とされてきた国内債券中心の運用方法から、株式等のリスク性資産割合を高める方向での急激な変更は、国民の年金制度に対する信頼を損なう可能性があり、また、国民の財産である年金積立金を毀損しかねないため、一定の株式割合は維持しつつも、慎重な運用を図ることを要請する。
- 3 年金積立金管理運用独立行政法人 (GPIF)

西国分寺駅東口を長距離バスの発着拠点に！



無会派(無所属) 甲斐 よしと

甲斐) 昨年より、再開発完成後の国分寺駅北口駅前広場の中・長距離バスの路線の誘致を提案しているところである。西国分寺駅駅前広場も東口改札の見通しはまだだが、広場を有効に利用するために中・長距離バスの発着拠点に育てていくべきではなかろうか。例えば現在国分寺駅南口から羽田空港には朝4時45分を初めとして6時までの4本しか、バス停が共有の為、発車していない。武蔵小金井北口からは4時50分から19時15分まで12本発車できている。帰り而言えば、国分寺駅南口では20時以降にしか到着させてもらえない状況である。このエアポートリムジンは府中街道の北府中駅前の京王バス府中営業所を出発しているわけだから泉町交差点を右折する前に西国分寺東にも停車いただく事をお願いすることを第一歩とし、次に国分寺駅バス停が利用できない6時~20時の間を西国分寺駅で補う形で、平成31年の国分寺北口再開発完成後をにらみ、バス会社へ提案していただきたい。現状では、武蔵小金井に負けている。

都市開発部長) 地域活性化の為にバスの一大ハブというご指摘を受けておりますので、その方向で動いていきます。

大阪市、放置自転車対策に小学生からの啓発ポスターを路面に写貼、放置ゼロへの効果絶大！

甲斐) 駐輪場を放置指導員まで含め指定管理を模索しているというが、特に国分寺駅北口は新たな装いになる機会でもある。放置指導員という対処療法に頼るな。指定管理化が目的化しているが、引きこもり等、様々な事情による方々への就労支援にすべきだ。

都市建設部長) 地域の方々がご活躍いただけるような方法を考えていく必要をご指摘いただいている。より具体的な御提案で検討していく。

卒業生寄附による受験校過去問等の情報充実へ教育長) 各学校の意見を聞きながら考えたい。

新町樹林地、毀損した樹木も含め再整備せよ

甲斐) 地域住民やゲートボール利用者の声に耳を傾けず、暴挙だった。樹林地整備をはかれ。

総務部長) 庁内協議し、活用を検討したい。

において、保険料拠出者である労使をはじめとするステークホルダーが参画し、確実に意思反映できるガバナンス体制を構築すること。

意見書第3号 地方税財源の拡充に関する意見書

真の分権型社会を実現するためには、国と地方の役割分担を明確にし、地方がその責任と権限に応じた役割を果たせるよう、地方税財源の拡充を図る必要がある。

しかし、国は、平成26年度税制改正において、地方法人特別税・地方法人特別譲与税を継続するとともに、地方の貴重な自主財源である法人住民税の国税化を新たに導入し、消費税率の10%への引き上げ時には、これをさらに進めることとした。

国分寺市議会は、国会及び政府に対し、地方税の根本原則をゆがめる地方法人特別税・地方法人特別譲与税と法人住民税の国税化を直ちに撤廃して地方税として還元するとともに、不合理な偏在是正措置を新たに導入することなく、地方が担う権限と責任に見合う地方税財源の拡

持続可能な財政運営と市民の利便性向上を！



国分寺政策市民フォーラム 木村 徳

木村=市財政について、26年度決算で基金残高の9億4,000万円増は改革努力の結果と評価するが、一方扶助費支出は8億5,000万円増、物件費も7億5,000万円増と、収支は依然厳しい。28年度を一つの集大成としてどう予算編成していく考えか。また税外収入については市外利用者の駐輪場利用料の見直しを速やかに行うべきだ。政策部長=28年度予算査定は厳しく行っていく。税外収入についてはふるさと納税を大きな柱として体制を整え、新たな税外収入があれば貪欲に検討していく。駐輪場は収入に直結する分野であり、検討を早急に進めていく。

木村=ふるさと納税についてはペンシルロケットで大きく注目を集めたところであり、二の矢、三の矢を打ち出すべきだ。お金をかけずに効果を上げる提案として、今後の国分寺駅北口再開発完成を見据えて寄付者の銘板の設置、また未活用の武蔵国分寺の文化財の活用を行っては。政策部長=銘板は使える手法だと思う。文化財は困難はあるが、実現に向け挑戦したい。その他、鉄道関連の活用等も考えていく。

木村=ペットボトルの戸別回収をしていない現状は法令の趣旨からも合理性がなく、市民からも戸別回収を求める声も多い。早期実施を。

環境部長=圧縮する機器も新たに導入したので、日野市などと同様、最低でも4週に1回戸別回収が可能か検証し決定していく。

木村=ぶんバス北町ルートは開業時3か所のバス停が9か所まで増えることは評価するが、もっと利便性の良いルートを検討すべきだ。また万葉・けやきルートも早急に実現を。

都市建設部長=ルートについては引き続き協議をしていく。また万葉・けやきルートも一日も早い運行を目指して取り組んでいく。

木村=市長任期後半に入ってもなお不適切な事務が改まっておらずより厳しい姿勢での綱紀粛正が必要だ。特に勤勉手当は満額の98%が保証されており、今の運用は改めるべきだ。

総務部長=勤勉手当の配当の割合や率について今後研究を進める。

充という本質的な問題に取り組むよう強く要請する。

意見書第4号 都市農地の保全と農業振興の推進に関する意見書

市街地及びその周辺の地域において行われる農業を都市農業と位置づけた待望久しい都市農業振興基本法の施行は、国及び政府の責務を明確にし、都市農業振興基本計画の策定、法制上、財政上、税制上または金融上の措置、詳細にわたる基本的施策の実施が明記され、その実現により、都市農地の保全と都市農業の継続性に対し大きな希望を抱かせるものである。このことは、農業者や農業関係者は言うに及ばず、良好なまちづくりの視点から、都市住民も大きな期待を寄せている。

よって、国分寺市議会は、国及び政府に対し、都市農地の保全と農業振興の推進に不可欠な具体的措置や農業振興施策が都市農業振興基本法に基づき早急に講ぜられることを要請するものである。